

三柘建設のZEHへの取り組み 令和4年度(2022)の実績報告



三柘建設は「家は住みごち」を家づくりのテーマに、太陽エネルギーを効率的に利用した「全室24時間暖房」と「給湯システム」で、家中の温度を一定に保つことができる上、光熱費を抑えることも可能にしたハイブリッドソーラーハウスをご提案しています。
【省エネルギー性能の高い家＝快適な住まい】それが住みごちの良い暮らしにつながります。
ハイブリッドソーラーハウスは、快適性にも環境性にも応える家づくりの新しいカタチ。
三柘建設の究極の家づくりです。

目標・実績

		平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和7年度 (2025)
目標	ZEH/NearlyZEH 受託率の合計	10%	15%	20%	25%	50%	50%	50%	ZEH普及目標
実績	ZEH/NearlyZEH 受託率の合計	47%	40%	10%	22%	0%	12%	16%	50%

ZEHとは…

net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略語で、「エネルギー収支をゼロ以下にする家」という意味になります。つまり、家庭で使用するエネルギーと、太陽光発電などで創るエネルギーをバランスして、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家ということです。

また、経済産業省は2021年10月に閣議決定された第6次エネルギー基本計画における「2030年度以降新築される住宅について、ZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保を目指す」、「2030年において新築戸建住宅の6割に太陽光発電設備が設置されることを目指す」という目標をかかげています。

三柘建設もZEHの普及に向けた取り組みを行っています。

BELSとは…

BELSとは、、、省エネ性能の高い住宅を一目でわかりやすくするための指標として、国土交通省が定めた第三者機関承認制度のひとつです。

☆1～☆5までの5段階の評価により建物の省エネ性能を格付けされたものです。よって☆5は最高レベルの省エネ住宅だと示します。



令和4年度の三柘建設の受注した住宅は全て☆5の評価基準を満たしています。

また、省エネ性能の高い住宅にハイブリッドソーラー+太陽光発電+蓄電池を搭載した住宅も建築しています。

